



# 地域の信頼と豊かなキャリア資源が育む子供の未来 ～人と人をつなぎ育てる中台小～

東京都板橋区	●活動名 中台小学校支援地域本部	●関係する学校名 板橋区立中台小学校
--------	---------------------	-----------------------

協働活動開始年度	平成 25 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	18 学級	のべ児童・生徒数	407 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	放課後子供教室			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 3人				
学校運営協議会	指定・設置日 令和2年4月1日設置予定	ボランティアの数	延べ登録人数 388人	企業・NPO等との連携	有		
参考URL	<a href="http://www.ita.ed.jp/edu/nakades/">http://www.ita.ed.jp/edu/nakades/</a>						

●連絡先 板橋区教育委員会事務局 地域教育力推進課 ☎ 3579-2619



●活動の概要・経緯

○活動の基本は毎月定期的コーディネーター会議。授業支援の内容、確認、依頼、お礼の打合せを実施。授業支援は①学年ごとの支援②学校行事支援③学力、体力向上支援④キャリア教育支援⑤学校依頼支援、他に次世代のコーディネーター育成に向けた研修を実施。支援ボランティアは町会、商店街、NPO法人、企業等、地元の協力者を資源とし依頼書を配付している。保護者はPTA活動協力を前提に地域の一人としてボランティア協力を依頼している。コミュニティ・スクール推進委員会が設置され、教職員との熟議の機会に相互理解も深まり、人と人をつなぎ育てる中台小の力となっている。

○子供の居場所としてH18年度より実施した中台小学校開放協力会(いきいき寺子屋事業:なかだいKID'S)が母体となり、H25年度より代表者1名、地域コーディネーター2名にて学校支援地域本部を開始した。基本的に学校と保護者と地域の関係性を明確にし、PDCAで常に、よりよく改善推進に取り組んでいる。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

○中台小学校の要望を確認し、各学年の先生方と打合せを密にしなが授業支援を展開。①1・2年生と特別支援学級:花蓮の泥こねと分根植え。3年生:町探検「こども110番」「安全マップ作成」「商店街見学」。4年生:キャリア教育「1/2の成人式」。5年生:さくら草育成(さくら草学びのエリアの学校が集い、さくら草まつりを実施)。6年生:中台小の歴史を学ぶ(卒業生より中台小の昔話)。②マラソン大会、オリンピック・パラリンピック授業ではプロの支援をいただき全校児童と一緒に体験出来る様に努める。③スポーツテスト、放課後学習、読み聞かせでは、子供の潜在的な興味を引出し、楽しく伸ばせるように努める。④漢字検定は児童の他家族の受検も可能にし、家族での学習取り組みを支援している。⑤保護者会への出席を促すため、未就学児の保育(お話の会)を実施している。

### 【実施に当たっての工夫】

○定期的なコーディネーター会議を実施し、活動の予定や依頼内容、役割分担や進行、反省、お礼まで、学校(教員)との連携を心掛けている。また活動の予定表を児童に配布し、学校支援活動、なかだいKID'S活動、PTA活動を把握できるようにしている。学校支援活動のポイントは、教員の希望・要望を理解し地域性を活かしたマッチングとなるような連携を心掛けている。そして安全で落ち着いた授業環境となるように配慮しボランティアへの丁寧な対応に努めている。また学校支援地域本部事業への理解を深めるため、活動のパネルを校内に掲示している。コミュニティ・スクール推進委員会を始め保護者や地域ボランティアの理解・協力は大変大きく、活動終了後はお礼状を通じ感謝の気持ちを届け、継続的な支援につなげている。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

中台小学校支援地域本部の活動は、中台小学校の教育を支える大きな力である。日々の教育活動の授業ボランティアの手配は、迅速かつ的確に行い、活動範囲は郷土愛学習・スポーツ推進・漢字検定・数学検定など多岐に渡っている。そのお陰で、全校児童が質の高い体験学習を安全かつ専門性の高いものになっている。本校の研究である「キャリア教育」も地域人材の発掘・育成により実りあるものになっている。児童の自己有用感が高まり、地域教育力の高まりにより学校教育全体が充実できている。そして、中台小学校支援地域本部が核となって、『板橋区コミュニティ・スクール導入推進校』となり、本気で学校を支え、学校運営に携わろうというコミュニティ・スクール委員や保護者が増えてきた。児童・教員・保護者・地域の方々も含めて、感謝の気持ちでいっぱいである。

## ● その他

○中台小学校は花蓮の学校を目標に学校・児童・保護者・地域そして中学生の協力で40種類以上の花を咲かせています。また起伏のある学校の地形を利用したマラソン大会では、町会交通部の方々の安全な見守りのお陰で、力強い走りや応援が冬の風物詩である。



一な花蓮の初体験。育成も地域指導者と



なりマラソン大会を支援。見守りやボランティアの活躍を支える心。安全